

記者発表（配付）資料

平成24年4月16日

所属部課	館長	副館長	統括学芸員	担当	連絡先
萩博物館	湯本重男	樋口尚樹	清水満幸	一坂太郎	25-6447

件名	企画展「 「志士」と「元勳」の書 ～筆先になじみでる人となり～」の開催について
----	---

吉田松陰・高杉晋作・久坂玄瑞・木戸孝允・前原一誠・伊藤博文・山県有朋等々、長州萩出身の「志士」や「元勳」の書を一堂に展示します。これまで歴史史料として扱われることの多かった遺墨を、監修者として萩市川島在住の書家である小倉窓寛（^{おくらまろけん}菊太郎）先生を迎え、作品として鑑賞することといたしました。新視点から見る遺墨からは、書き手の思わぬ一面が見えて来ることでしょう。

- 会期：平成24年4月21日（土）～平成24年6月24日（日）
会期中無休
- 会場：**萩博物館** 企画展示室（山口県萩市堀内355 0838-25-6447）
- 開館時間：**午前9時～午後5時**（入館は午後4時30分まで）
- 開会式：4月20日（金）15時00分から（30分程度） 終了後に内覧会
プレス取材は14時から開始いたします。
- 観覧料：大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
【団体割引】20名以上 20%引 【障がい者割引】20%引
- 展示資料数：43点（目録参照、チラシ参照）
チラシに使用した画像データを提供いたしますので、ご入用の際はお申し出ください。
本展覧会では、**展示図録**（B5、2色刷、46ページ）を作成いたします。
開会式当日に配布いたします。
4月21日からミュージアムショップで販売いたします。（**定価：500円**）
- 主要書作者一覧：吉田松陰、高杉晋作、久坂玄瑞、木戸孝允、広沢真臣、前原一誠、伊藤博文、井上馨、山県有朋、山田顕義、品川弥次郎、野村靖、杉孫七郎、野村素介

8. ギャラリートーク : 4月29日(日)午後1時30分~、5月27日(日)午後3時~
学芸職員が展示内容を解説します。

無料(ただし別途観覧料が必要)

定員約20名(申し込み不要、当日開始5分前までに企画展示室入り口に集合)

9. 関連イベント : 国際博物館の日(5月18日)協賛企画としてワークショップを開催します。

ワークショップ:「志士の書を書く」

展覧会を監修いただいた書道家小倉窓算氏を講師に迎え、展示資料の書作品としての解説を聞き、代表的な人物の書を手本としてその筆法などを体験します。

と き : 5月19日(土)午後2時~4時

場 所 : 萩博物館講座室

定 員 : 30名(中学生以上・申し込み順)

持参物 : 書道用具(筆、墨、硯、下敷き、文鎮)

参加費 : 300円